News Release

日本電気硝子株式会社
総務部（広報担当）
大津市晴嵐二丁目７番１号 〒520-8639
Tel. 077（537）1861（直）

２０１３年１１月５日

「見えないガラス®」が
「吉岡徳仁ークリスタライズ」に採用

日本電気硝子株式会社(本社:滋賀県大津市、社長:有岡雅行)の「見えないガラス®」が、幅広い領域で活躍する国際的デザイナー 吉岡徳仁氏の初の大規模個展「吉岡徳仁ークリスタライズ」の展示ケースと額装された作品の保護カバーに採用されました。

通常のガラス製の展示ケースは、照明の映り込みで中の作品が見えづらくなる場合がありますが、「見えないガラス®」のケースは、高性能な反射防止膜によりガラス特有の映り込みを極限まで抑えることができます。美術品の展示分野では、既に「損保ジャパン東郷青児美術館」や「京都国立近代美術館」、「ポーラ美術館」などの著名な美術館に採用実績があり、今回は展示作品の魅力をダイレクトに伝える「見えないガラス®」の性能を高く評価いただき、採用に至りました。

「見えないガラス®」は、宝飾店や高級腕時計店などのショーケースなどにも採用されており、現在はスマートフォンやタブレット、各種モニターの反射防止用としても開発を進めています。今後も、幅広い用途展開で拡販に繋げてまいります。

■個展の概要

・展覧会名：吉岡徳仁ークリスタライズ
・会　　期：2013 年 10 月 3 日（木）～2014 年 1 月 19 日（日） ※月曜日休館
・会　　場：東京都現代美術館

新作として、音楽を聴かせながら結晶化させた絵画「Swan Lake」を始め、7 つの糸から生み出される椅子「蜘蛛の糸」等を発表。その他、結晶化した薔薇の彫刻「ROSE」、クリスタルプリズムで創られた建築「虹の教会」などを出現させ、インスタレーションを含む代表作、国内初公開作品等を展示。

○リリース内容に関するお問い合わせ先
日本電気硝子株式会社 総務部 長谷川 電話:077-537-1861

○「吉岡徳仁ークリスタライズ」に関するお問い合わせ先
株式会社吉岡徳仁デザイン事務所 寺本 電話:03-5428-0830

以　上

（参考資料）

■「見えないガラス®」の特長

ヒトの目が感じる波長の光を選択的に反射しないように、反射防止膜の厚さをナノメートルレベルで コントロールしています。その視感反射率(＊)の最小値は0．08％と、一般的なガラス(約4％)を大きく下回ります。高級宝飾店などの展示ケースには、これまで低反射処理を施したガラスやアクリル板が使用されていますが、「見えないガラス®」の性能は従来品を大きく凌いでいます。　（＊） 視感反射率:ヒトの目が感じる反射率。

■「見えないガラス®」と普通のガラスの比較例



「見えないガラス®(左)」には反射や映り込みが見られませんが、
「普通のガラス(右)」には天井照明が映り込み、色調もやや沈んで見えます。

■「見えないガラス®」採用事例

- フランク・ミュラーウオッチランド大阪「BACKES & STRAUSS SALON」(店舗ショーケース)
- ミキモト京都高島屋店　(店舗ショーケース)
- ＧＩＮＺＡ　ＴＡＮＡＫＡ 銀座本店　(店舗ショーケース)
- 宮本商行　銀座本店　(店舗ショーケース)
- 京都国立近代美術館　(展示ケース)
- 損保ジャパン東郷青児美術館　(絵画保護カバー)
- 千葉大学医学部附属病院　(Ｘ線透視撮影室)
- 秋田大学医学部 法医解剖室　(見学者用およびＣＴモニター用窓)

■ 吉岡徳仁氏 プロフィール

1967 年佐賀県生まれ。1986 年桑沢デザイン研究所卒業後、倉俣史朗、三宅一生のもとでデザインを学び、2000 年吉岡徳仁デザイン事務所を設立。20 年以上にわたり ISSEY MIYAKE の展覧会やスペースデザインを手がけ、銀座の旗艦店「SWAROVSKI GINZA」のデザイン、CARTIER、HERMES、LEXUS、TOYOTA、NTT の空間デザイン、FANCL のパッケージ／ショップデザインに至るまで、幅広い分野で活躍。